

ひまわり通信

№1 平成20年5月1日

新潟市立東青山小学校

校長 斎川 英子

児童数 618人

(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp



いのち輝く子ども

はじめまして、よろしくお願いします

4月26日(土)、今年度初めての授業参観、PTA総会、学年・学級懇談会がありました。大勢の保護者の皆様から参観いただき、子どもたちは、とても張り切っていました。ありがとうございました。

PTA総会では、今年度、学校が力を入れて取り組むことを説明いたしました。下に、概略を紹介します。

平成20年度【いのち輝く子どもの育成】

- 1 「地域と学校パートナーシップ事業」を行い、家庭や地域との連携を強化します。
- 2 一人一人の子どもの学びを大切にし、確かな学力を身に付けます。
- 3 子ども同士、子どもと教師の人間関係を深め、豊かな心を育成します。
- 4 運動や集団遊び、望ましい生活習慣づくりを通して、健やかな体をつくります。
- 5 一人一人の子どものニーズに応じた特別支援教育を充実させます。

校長室からの通信「ひまわり通信」を通して、皆様に子どもの様子や学校の取組を紹介していきたいと考えております。

また、皆様からのご意見や感想をお寄せいただき、子どもたちの健やかな成長を願う、双方向の通信になればありがたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

ひまわりの種まきをしました

一昨日、東青山小学校のシンボルである「ひまわり」の種まきをしました。ひまわりには、いろいろな種類があることを知り、草丈が、

40cmくらいになるものを選びました。

「早く芽を出せ」と声をかけ、たっぷり水をやりましたが、説明書によると、芽が出るまでには1週間から10日はかかるとのこと。どんな芽が出るのか、どのように生長していくのか、今から楽しみです。

ひまわりの生長と東青山小学校の子どもたちの姿を重ねながら、大切に育てていこうと思います。



子どもスケッチ

「だいじょうぶ、私もそうだった」

雨の降る朝の登校時のこと。

シクシク泣きながら登校してくる1年生。

「どうしたの？」とたずねると、「ママと一緒にいたい。」という返事。

一緒に歩いている上級生が、「今日は、学校で楽しいことがあるよ。」「クラスの先生も待っているよ。」と優しく声をかけてくれている。でも、泣きやまない。私も一緒に励ましてみる。効果なし。

そこへ近づいて来た2年生の女の子が言う。

「だいじょうぶ。私も1年生のときは、そうだったよ。でも、だいじょうぶ。だいじょうぶだよ。」すると、それまで泣いていた1年生が、さっさと歩き出したではないか。涙が消え、笑顔になって。

子どもには、子どもにしか分からない気持ちや体験がある。「だいじょうぶ、私もそうだった」は、何と力強い励ましだろう。

「地域と学校パートナーシップ事業」のたより「風」を発行します。(裏)

事業へのご理解とご協力をお願いします。

「ひまわり通信」ともども、ご愛読のほど、よろしくお願いいたします。